

名の崎物語

第 100 号
令和3年7月1日
発行
茨城県古河市
名の崎会広報部会

祝 名の崎物語 第100号 達成!



令和3年度 名の崎会総会

名の崎会会長 染野 則夫

名崎地区の皆様には、名の崎会活動について日頃より、ご理解・ご協力を賜りまして衷心より感謝申し上げます。

昨年来のコロナ禍は、増加の一途をたどり収束の見通しが立たない状況下にあります。そんな中ですが、昨年は書面表決にて実施させていただきましたが、本年総会は名崎地区区長15名と当会の役員の最少人数で、来賓はご遠慮いただき4月24日に開催致しました。勿論、コロナ対策（除菌消毒、窓を開放、換気に留意、座席間隔を十分に取り、全員マスク着用の基）実施ご審議を頂きました。名の崎会は、第20地区（名崎地区）区長会の強力なバックアップの基、連携してコミュニティ活動を実施しています。

今年も昨年同様行事の開催は非常に困難な状況下にあります。65歳以上のワクチン接種が7月中には遅くも8月には希望者全員への接種完了見込みです。従って、9月下旬開催計画のグラウンドゴルフは、ほとんどが65歳以上ですので開催可能と考えています。但し、今後の①感染者増加②ワクチン接種の進捗の状況等を見極め③しっかりとした対策を立て万全の体制で望めるよう検討し判断する必要があります。開催の際は皆様のご協力をお願いします。

令和3年度も、区長会のご支援ご協力の基、各行政区より推薦頂いた部会員共々スタッフ一同地域の為積極的に貢献していきたいと考えます。本年度もご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後に、皆様におかれましてはコロナ対策を常に実行し感染されませんよう祈念申し上げます。

令和3年5月吉日

今を生きる子供たちのために

名崎小学校校長 安達 和宏

現在、新型コロナワクチン接種が進み、ようやくコロナ収束への希望が見え始めています。学校としては、コロナ禍が明けるまで気を緩めることなく、引き続き感染防止対策に取り組んでまいります。子供たちの明るい笑顔が増え、教室から歌声が聞こえる学校に一日でも早く戻ることを願って止みません。

コロナ対応2年目を迎えた今年度は、学校の教育活動を昨年度より一歩踏み込んだものにしたいと考えています。地域の感染状況を踏まえながらですが、子供たちに必要な行事は内容を精査し、実施を検討していきたいと思っています。昨年できなかった入学式や運動会、授業参観は、規模や参観者を限定して実施しました。今後、宿泊を伴う行事や名崎小フェスタについても、保護者や地域の方のご理解をいただきながら、可能な形で実施していきたいと思っています。今後とも、名崎地区の未来を担う子供たちのため、名の崎会の皆様のより一層のご支援・ご協力をお願いいたします。



笑顔・あいさつ・感謝でつなぐ地域との関わり

三和東中学校校長 山崎 英男

今年度、茨城県教育庁生涯学習課から新任の校長として三和東中学校に赴任してまいりました。素直で明るい子ども達と熱意のある先生方のいる伝統ある三和東中学校に勤務できる喜びと職責の重さをひしひしと感じております。

名の崎会の皆様には、これまで地域の活動を通して子ども達が地域と関わり、社会性を身に付けるために大きな役割を担っていただいておりますこと、心より感謝申し上げます。これからもぜひお力添えをいただけますようお願いいたします。

さて、わたしは本校の教育目標である「郷土に誇りをもち、たくましく生きぬく子を育てる」に向けて、「笑顔・あいさつ・感謝」を合い言葉に地域と学校が連携し、よりよい関係を築いていくことを目指しております。そのために、学校のよさをお便りやホームページなどを通して発信し、地域とともに活動・成長できる学校になれるように努めていこうと考えております。

新型コロナウイルスが未だに収束せず、学校現場における行事等に大きな影響を与えているところですが、それでも子ども達が元気に学校に登校し、学び続けていられるのは、保護者や地域の皆様のおかげです。今後も子ども達の健康に最大限の配慮をしながら、安心・安全な教育活動を進めてまいりますので、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

収入の部 令和2年度 収 支 決 算 書 (単位:円)

科 目	予算額	決算額	増減額	備 考
繰 越 金	366,654	366,654	0	・前年度繰越金
行 政 区 協 力 金	690,000	694,500	4,500	・世帯@300円×2,315戸
市 助 成 金	1,300,000	436,000	△ 864,000	・古河市コミュニティ助成金
参 加 負 担 金	171,000	90,000	△ 81,000	・看板作成負担金 (20地区、名崎小PTA, 三和東中PTA)
雑 収 入	572,346	55,606	△ 516,740	・広報紙広告代(45,000)・利息、拾得金(606) ・コミュニティ推進協議会負担金 返還金(10,000)
合 計	3,100,000	1,642,760	△ 1,457,240	

支出の部 (単位:円)

科 目	予算額	決算額	増減額	備 考
会 議 費	80,000	8,106	△ 71,894	・監査、会議等
事 務 費	10,000	23,320	13,320	・切手代、用紙代
部 会 運 営 費	120,000	120,000	0	・広報部会@30,000・生活部会@30,000 ・スポーツ部会@30,000・企画委員@30,000
事 業 費	2,500,000	568,446	△ 1,931,554	・見守りパトロール用看板作成代等(339,360) ・広報紙発行(229,086)
研 修 視 察 費	200,000	0	△ 200,000	
修 繕 費	30,000	52,298	22,298	・事務所施設修繕費
光 熱 水 費	60,000	51,657	△ 8,343	・電気料(48,478)水道料(3,179)
交 際 費	60,000	10,000	△ 50,000	
備 品 購 入 費	10,000	0	△ 10,000	
予 備 費	30,000	31,999	1,999	・コミュニティ事務所火災保険料ほか
合 計	3,100,000	865,826	△ 2,234,174	

(収入金額) 1,642,760円 - (支出金額) 865,826円 = (残金) 776,934円 次年度へ繰越し

令和3年度 収支予算(案)					(単位:円)
収入の部	科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
繰越金	繰越金	776,934	366,654	410,280	・前年度繰越金
	行政区協力金	690,000	690,000	0	・世帯@300円×2,300戸
	市助成金	1,300,000	1,300,000	0	・古河市コミュニティ助成金
	参加負担金	171,000	171,000	0	・グラウンドゴルフ@500円(110人) ・サンタ宅配便@700円(80人) ・視察研修会2,000円(30人)
	雑収入	162,066	572,346	△410,280	・広報紙広告料@5,000円(1口) ・名の崎まつり協賛金,まつり売上、利息等
合 計		3,100,000	3,100,000	0	

支出の部					(単位:円)
科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考	
会議費	80,000	80,000	0	・役員会、総会等	
事務費	10,000	10,000	0	・事務用品,用紙,消耗品等	
部会運営費	120,000	120,000	0	・広報部会@30,000 ・生活部会@30,000 ・スポーツ部会@30,000 ・企画委員@30,000	
事業費	2,500,000	2,500,000	0	・名の崎まつり(1,450,000) ・グラウンドゴルフ大会(150,000) ・サンタ宅配便(100,000) ・ファミリースポーツ大会(400,000) ・防災訓練(150,000) ・広報紙発行(250,000)	
研修視察費	200,000	200,000	0		
修繕費	30,000	30,000	0	・事務所施設修繕費	
光熱水費	60,000	60,000	0	・事務所電気代、水道代	
交際費	60,000	60,000	0		
備品購入費	10,000	10,000	0		
予備費	30,000	30,000	0		
合 計	3,100,000	3,100,000	0		

上記予算については、相互に流用できるものとする。

令和3年度 名の崎会本部役員

役 職 名	氏 名	行政区名	役 職 名	氏 名	行政区名
会 長	染 野 則 夫	下 内	ス ポ ー ツ 部 会 長	塚 原 健 二	丸 山
副 会 長	森 澄 雄	下尾崎一	生 活 部 会 長		
副 会 長	大 谷 正 明	間 中 橋	広 報 部 会 長	為我井 佳 子	下尾崎二
書 記	峯 照 男	恩 名 下 坪	企 画 委 員 長	阿久津 信 子	恩 名 下 坪
会 計	中 沢 昇	加 下 間	企 画 委 員 ・ 書 記 補 佐	石 丸 政 仁	間 中 橋
監 事	塚 原 正 裕	恩 名 下 坪	企 画 委 員	腰 塚 義 和	新 立
監 事	佐 藤 隆 志	前 新 田	企 画 委 員	畑 山 洋 子	新 立
顧 問	羽 鳥 松 藏	丸 山	企 画 委 員	穴 田 良 子	下尾崎一
自 治 振 興 部 会 長	永 井 行 男	下尾崎二	企 画 委 員	古 瀬 幹 也	間 中 橋 南
自 治 振 興 副 部 会 長	植 野 茂	間 中 橋	企 画 委 員	安 司 保 雄	間 中 橋 南

令和3年度 名の崎会専門部会員

行 政 区 名	自 治 振 興 部 会	ス ポ ー ツ 部 会	生 活 部 会	広 報 部 会
恩 名 下 坪	塚 原 正 裕	塚 原 俊 雄	山 中 久 美 子	森 裕 美
古 屋 ・ 松 山	塚 原 守	塚 原 一 馬	百 瀬 登 美 子	塚 原 信 一
丸 山	塚 原 治 夫	塚 原 健 二	塚 原 進	塚 原 今 恵
新 立	蒔 田 清	羽 鳥 麻 利	川 島 俊 明	逆 井 香 代 子
江 口	鈴 木 保 博			
下 尾 崎 一	森 澄 雄	涌 井 利 博	伊 藤 昇	福 田 裕 美 子
本 田 山	相 馬 秀 吉	大 坪 裕 明	安 田 正 枝	加 藤 薫
下 尾 崎 二	永 井 行 男	菅 敏 雄	山 岸 清 隆	為 我 井 佳 子
瀬 戸 屋 敷	木 戸 清 貴	塚 原 節 男	富 山 和 子	栃 木 明
並 木	横 瀬 一 男	鹿 久 保 博	山 田 晋 至	宮 川 文 雄
前 新 田	佐 藤 隆 志	大 木 直 明	吉 澤 和 夫	久 村 幸 光
下 内	小 林 洋 寿	塚 田 幸 則	八 代 真 奈 美	鈴 木 日 出 夫
加 下 間	清 水 隆	舟 橋 敏 雄	菊 地 優 美	戸 高 春 司
間 中 橋	植 野 茂	石 丸 貴	本 多 教 子	植 野 ひ ろ 子
間 中 橋 南	栗 田 富 士 子	潮 田 裕 子	荒 井 真 由 美	志 賀 守

本部役員・専門部会員 任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日

「地域とのつながり」

第20地区地区長 永井 行男

「地域の人々とのつながりを持ちたくない」と考えている人もごく少数いるかもしれません。人間関係が弱くなると、地域の一員としての意識も薄れて心は離れ離れになってしまいます。心の間にすき間が生じてしまいます。

名の崎会会則2条「連帯意識の高揚」、第20地区規約2条「会員相互の連携」を目的としています。二人三脚で住民同士のつながり（連帯・連携）を深め、地域活動への関心の大切さを強調し、鋭意実施してきました。

◎地域課題の解決 ◎支え合い助け合いの地域づくり ◎地域への愛着支援
◎名崎小・東中の児童生徒の健全育成 ◎犯罪発生予防

1人でも多くの方が地域の一員として、より一層地域活動に参加することで、普段から隣近所との行き来がある人は、精神的なやすらぎを得ている傾向があるそうです。人とのつながりは不安を安心に変え、地域とのつながりは地域力の結果で困難を乗り越え、安心に変えていくことができます。

「区長抱負」

間中橋南行政区区長 栗田 富士子

此の度、推薦を受、区長の大任を務めることに成りました。（前回もお断りしているため、今回は受けることにしました。）未熟ではございますが、皆様のお力をいただき、精一杯頑張ってお参る所存で御座いますので、宜しくお願い致します。

我が行政区の住民の皆様を、全員人材ととらえて取り組んで参ります。住民の皆様、一人一人が心の成長を計ることに自覚していただき、相手に思いやりを持ってよりよい、住民同士が尊敬の心を持って信頼しあい。励ましあい、健康で無事故で、明るく仲の良い、元気な日々を送って下さることを呼びかけ、願っております。純粋な心を誠実真心で、一人一人とかかわり、善知識の人が増していけば何をしても良い結果に繋がる、と考えます。

今、コロナ禍にあつて、全世界の民衆が苦しんでいる中、かけがえのない「生命」に向き合う重要さを、これまで以上に私たちに示しています。勇気を持って智慧をはたらかせて、主体性の有る心と行動で人間としてお互いに成長し、世代間の相互理解が不可欠であり、対立が起こってはならない時代であると思います。何でも話し合い、「共感の連帯」を築いて参りたいと考えます。「人と人を結ぶ心の交流を」。そして、「何のために生きるのか」を忘れず、力強く歩んで参ります。（マスクを付け3密を守り）「スローガン」を掲げて進みます。

平和を築く 太陽グループ 希望も人材の域 幸福の花園、と。皆が人間として成長し、最後は全員が幸福に成っていくため。

恩名下坪行政区区長 塚原 正裕

私達の行政区は、百世帯余りの新規に参入された方の少ない昔ながらの穏やかな地域です。然しながら、急激に高齢化が進み日常的な営みも難しい世帯も増えつつあります。これまでの地域の習慣を見直す時期に来ているように思えますので、地域の皆さんと共に今後の在り方を検討して行きたいと思ひます。

古屋・松山行政区区長 塚原 守

この度、初めて「名の崎会」に出席いたしました。何分初めてということもあり多々不慣れな点もあろうかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。

今年も未だ新型コロナウイルスが収まらず、安心安全に行事遂行出来るか心配ですが、地区行政の発展に協力したいと思います。

本田山行政区区長 相馬 秀吉

少子高齢、加えてコロナ禍のもと、地域の活力が一段と削がれつつある。一方、こんな時だからこそ共助の精神とコミュニティ活動の実践が強く求められている。活性化と住みよい地域社会を取り戻すためにも、微力ながらその一翼を担っていきたい。

瀬戸屋敷行政区区長 木戸 清貴

会員の皆様、こんにちは。本年度から自治振興部会員になりました木戸です。

名の崎会といえば、名の崎まつりをはじめ、いろいろな活動をされておりましたが、残念な事に昨年は新型コロナの影響でほとんどが中止となってしまいました。

今年も新型コロナの収束はまだ難しいと感じておりますが、皆様と共に頑張っ参りますのでよろしくお願い致します。



令和3年度 名の崎名の崎会事業計画



実施日	事業内容	備考
4月24日(土)	令和3年度 名の崎会総会	於：下内農村集落センター
5月	各部役員会	
7月 1日(木)	名の崎物語 第100号発行	担当：広報部会
7月20日(火)	名の崎まつり盆踊り練習	於：三和東中体育館 中止
8月21日(土)	名の崎まつり	於：名崎小 予備日：8/22(日) 中止
9月26日(日)	グラウンドゴルフ大会	於：尾崎ファミリースポーツ公園 予備日：10/2(日)
10月 1日(金)	名の崎物語 第101号発行	担当：広報部会
11月21日(日)	ファミリースポーツ大会	於：三和東中校庭・体育館 ※雨天時は名崎小も会場追加
12月12日(日)	自主防災訓練	於：名崎小校庭・体育館
12月	名崎サンタ宅配便	
2月 1日(火)	名の崎物語 第102号発行	担当：広報部会
2月	視察研修	

名の崎まつり中止のお知らせ

コロナ感染症感染拡大及びワクチン接種状況の進捗状況より、感染拡大に歯止めがかからない状況下、『第27回 名の崎まつり』を中止することといたしました。

名崎地区の多くの皆様のご協力により例年盛大に開催している行事ではありますが、感染リスク等を踏まえて、何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。

尚、秋以降の行事につきましては、コロナ感染の推移、及びワクチン接種状況等の進捗状況を見ながら、随時検討してまいります。

今後とも当会活動に対しましては、引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

駐車場が『広く』なりました!!



3/20,21

碎石入れ作業



5/8

駐車場の整備作業



5/8

駐車場整備にご協力、参加の名の崎会役員の皆様

ご協力頂いた

有限会社 日生産業 様

有限会社 塚原工務店 様

ありがとうございました。

この部分には地元協力者の広告が入っております。